

日本の近代史と共に歩んだ 黒住教の二百年。

岡山市の神道山に本部を置く黒住教は、「人は皆、天照大御神のご分心をいただく神の子」という教えのもと、

日の出を拝み、丸く、大きく、あたたかい心を養い育てることを日々のつとめとしています。

本年、教祖・黒住宗忠による立教から二百年。これからも、感動と感謝の心で、人に社会に誠を尽くしてまいります。



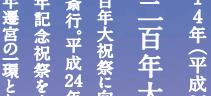
【1974年（昭和49年）】



【1979年（昭和54年）】



【2000年（平成12年）】



【2014年（平成26年）】

都市化の波が激しい大元の地から、壮大な日の出を求めて岡山市北区尾上神道山に新しく大教殿を遷座し、日の出を迎える拝む日拝を毎朝つとめている。神殿には、伊勢神宮の第60回式年遷宮際に下賜された内宮の古材を使用。本部機能の各施設をはじめ、教祖の書き残した短歌や手紙、備前焼や絵画等を展示した宝物館などを併設。また、日常の生活排水を淨化して植樹した山地に隣する「神道山水サイクル」を作動させている。

【1995年（平成7年）】
阪神淡路大震災に際して
50日間の炊き出し奉仕

【1995年（平成7年）】
アメリカで開催された「第3回世界宗教者平和会議」に、現教主 黒住宗晴が出席。三一ヨークでの開会式典にて「大調和への祈り」と題した開会の祈りをつとめる。

【2011年（平成23年）】
全国宗教者岡山大会を開催

【2011年（平成23年）】
世界連邦平和促進

【2014年（平成26年）】
立教二百年大祝祭斎行

【2014年（平成26年）】
立教二百年大祝祭斎行